

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をとおして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和6年度においては、次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、新大学キャンパスのエントランス部分の木質化を実施しました。
- また、区役所や本庁舎といった市民利用施設において、利用者が身近に木のぬくもりを感じられるよう窓口カウンター、椅子、屋外ウッドデッキ等の整備を実施しました。

□ 事業内容

市役所本庁舎における新たな空間演出

（施設名 大阪市役所本庁舎）

- ・ 大阪市役所本庁舎における展示用パネルや市民ロビーのソファー等を国産木材を使用した物品に置き換え、庁舎の利用者が快適で心地よい空間を創出した。

【事業費】51,205千円（うち譲与税51,205千円）

【実績】パネル展示ボード、机、椅子、看板、ソファー
店舗用パーテーション等



□ 事業スキーム

- ・ 制限付一般競争入札

□ 工夫・留意した点

- ・ 木材仕様の椅子に置き換えることで木のぬくもりや温かみを感じられる快適で心地よい空間を演出し、加えてにぎわいの創出という観点から同ロビーで実施している物販ブースにおいても木材仕様のブースを設置し、同調化を図った。
- ・ 正面玄関ホールでは、パネルや写真、絵画を展示するイベントを多く行っており、展示ボード自体を木材仕様にすることで来庁者が見学する際に木のぬくもりを感じて安らげる空間を創造した。

□ 基礎データ

①令和6年度譲与額：337,851千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人
⑤林業就業者数（※2）：157人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より